

あなたは命を守れますか？（P. 6～P. 7）

ねらい

阪神・淡路大震災の被害の様子から、地震から命を守ろうとする意識を高める。

展開例

（防災訓練の事前指導）

学習活動	指導上の留意点
「地震の歴史」P. 22 世界の地震分布図を見て気づいたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none">・プレートの境界付近で地震が発生しており、日本付近は特に地震が多いこと理解させる。・地震は、全国各地で起こっていることを理解させる。
「あなたは命を守れますか」P. 6～7を見て、感想や気づいたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none">・阪神・淡路大震災では、建物の倒壊による被害が大きかったことをおさえる。 <p><写真の状況></p> <p>淡路市：古い木造住宅が多く、台風に合わせて屋根瓦が重たかったため、地震の揺れにより多くの住宅が倒壊し、人々が家屋の下敷きになった。（その救出には消防団等の地域の人々が大きな力を発揮した。）</p> <p>長田区：倒壊した住宅から火災が発生し、家屋の下敷きになった人が、逃げ出せずに犠牲になった。発火の原因としては通電火災によるものが多かった。</p> <p>兵庫区：ビルの中階層が押しつぶされたり、倒壊したりした鉄筋コンクリートのビルもあった。また、周辺には割れたガラスの破片等が散乱した。</p>
地震の被害の様子から、地震から命を守るためにはどうしたらよいか考え発表する。	<ul style="list-style-type: none">・地震は、どこでも起こる可能性があり、命を守る正しい行動を身につける必要があることをおさえる。

参 考

- ・阪神・淡路大震災の様子については、P. 26「絶対に、こんなことでしんでたまるか」、P. 28「語りかける目」、P. 49「震災を語る」を参照